

一人ひとりの個性を活かし 連携を大切にする

昭和大学医学部 内科学講座神経内科学部門

小野 賢二郎 教授

【特徴】

当教室の特徴は東京都品川区旗の台に位置する本院と藤が丘病院、横浜市北部病院、江東豊洲病院の昭和大学附属の4病院が連携、一丸となり、日々、神経疾患の臨床、研究、教育に取り組んでいることです。また、昨年より金沢大学大学院脳老化・神経病態学(神経内科)から小野賢二郎教授を診療科長として迎え、医局員一同、新たな気持ちで日々の業務に当たっています。若い医局員が多く、指導医とのコミュニケーションも良好で充実した研修が行えます。本院では、東京都城南地区における基幹病院として幅広い患者様の診療を行い、幅広い神経内科領域の40人前後の入院患者の診療を行っております。t-PAや血管内治療をはじめとする急性期から、地域の先生方と共に慢性期地域医療に至るまで積極的に関わっており、多くの医局員が地域での訪問診療を経験している点も特徴です。

本院では小野先生を中心に認知症やパーキンソン病をはじめとした神経変性疾患への取り組みに力を注いでいます。近年、分子生物学の進歩を背景に、アルツハイマー病やレビー小体型認知症をはじめとする認知症、パーキンソン病や脊髄小脳変

性症、アミロイドーシスをはじめとする神経変性疾患の解明や治療が目まじく進歩しております。

特に、超高齢化社会を迎えるにあたり認知症の重要性が、医学的にも社会的にもますます高まっております。当科では昨年度より認知症外来を充実させ神経心理学的な検査や、頭部MRIや脳血流シンチグラフィなどの画像・核医学検査に加え、ApoEや各種脳脊髄液バイオマーカーを積極的に活用し、精度の高い世界レベルの診断を心がけるとともに神経疾患の臨床及び基礎研究も発展させていきたいと考えております。

【新専門医制度】

当教室では以前より内科認定医と神経内科専門医の資格が卒業最短の年数で取得できています。今年度からの新専門医制度にも対応した神経内科の知識を付けられるよう病院間でのローテーションを行い、幅広い偏りのない研修が行えるようカリキュラムを検討しております。脳神経外科と共に脳神経センターを運営しつつリハビリテーションまでの研修が行える藤が丘病院、一般内科と共に地域に根差した医療を提供する横浜市北部病院、血管内治療を含めた脳血管障害急性期を特徴とした江東豊洲病院——と、それぞれの得意分野を活かした研修が行えます。ま



た、日々の診療は班体制で行い、指導医や臨床実習中の学部学生と共に1日2回の受け持ち患者の回診を行い、診療と治療方針の検討を行っています。さらに、大学院に入って専門医と共に学位を取得するなど、各人のご希望にフレキシブルに対応し、皆さんのご希望や適正に応じた分野・領域でご活躍できるように教室員一同努力していきます。当科はこれからも、新たにさらなる教室の発展を目指すだけでなく、診療、研究、教育(研修医、学生)の全てにおいて医局員が楽しく仕事ができる、魅力ある教室作りを心がけています。また、十分な夏季休暇や定期的なレクリエーションなどで医局員のリフレッシュも行っています。働きやすい活気のある教室ですので、どうぞお気軽にお声をおかけください。

文責：矢野怜、小野賢二郎

DATA

昭和大学医学部
内科学講座神経内科学部門
〒142-8666
東京都品川区旗の台1-5-8
<http://showa-u-neurology.com>
yanoyanoyano10@yahoo.co.jp
構成：医局員数/32人、指導医数/21人、
研修医数/4人



小野賢二郎氏